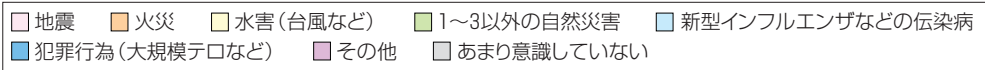
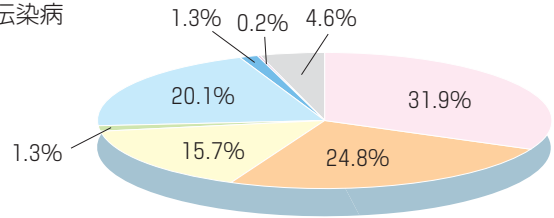


# 特別調査「中小企業における災害等への取組状況（事業継続計画（BCP））について」

## 問1

「災害大国」といわれる日本において、あらかじめ、緊急時のための心構えや準備をすることが必要といわれています。貴社にとって、普段、どのような災害をもっとも意識していますか。下記の中から3つ以内で選んでお答えください。

- 1. 地震
- 2. 火災
- 3. 水害（台風など）
- 4. 1～3以外の自然災害
- 5. 新型インフルエンザなどの伝染病
- 6. 犯罪行為（大規模テロなど）
- 7. その他（ ）
- 8. あまり意識していない



普段、もっとも意識している災害について、最も多い回答は「地震」31.9%、次いで「火災」24.8%、「新型インフルエンザなどの伝染病」20.1%、「水害（台風など）」15.7%となりました。

## 問2

災害や伝染病などの緊急時における業務の早期復旧のために、「事業継続計画（BCP）」の作成が有効とされています。貴社が事業継続計画（BCP）を作成（予定を含みます）している場合は、そのきっかけについて下記の1～6の中から、また、作成していない場合は現在の状況について7～0の中から、1つ選んでお答えください。

(実施のきっかけ)

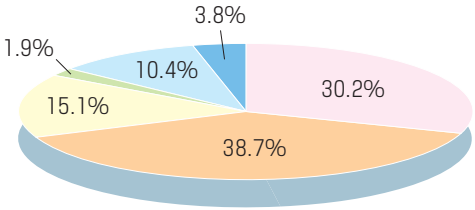
- 1. 行政からの薦め
- 2. 業界団体からの薦め
- 3. 取引先からの要求
- 4. 他社が災害を受けた
- 5. 自社が災害にあった
- 6. その他（ ）

BCPを作成（予定）している

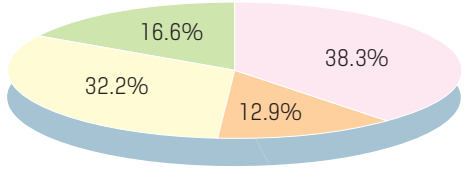
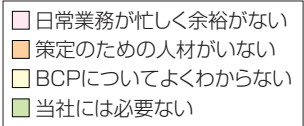
(現在の状況)

- 7. 日常業務が忙しく余裕がない
- 8. 策定のための人材がない
- 9. BCPについてよくわからない
- 0. 当社には必要ない

作成していない



事業継続計画（BCP）を作成（予定を含みます）している企業の実施のきっかけについて、最も多い回答は「業界団体からの薦め」38.7%、次いで「行政からの薦め」30.2%、「取引先からの要求」15.1%となりました。



事業継続計画（BCP）を作成していない企業の現在の状況について、最も多い回答は「日常業務が忙しく余裕がない」38.3%、次いで「BCPについてよくわからない」32.2%、「当社には必要ない」16.6%となりました。

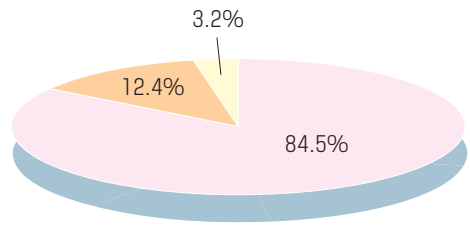
問3

貴社における災害時の対策（人的資源などの状況）について、下記の1～3、4～6の中から、それぞれ1つずつお答えください。

（経営者が不測の事態で不在となった場合、代わりの者がいる） （緊急事態が起こった場合、従業員と連絡を取り合うことができる）

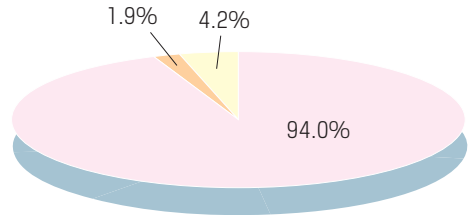
- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. 不明
- 4. はい
- 5. いいえ
- 6. 不明

□ はい   □ いいえ   □ 不明



災害時の対策（人的資源などの状況）について、経営者が不測の事態で不在となった場合、代わりの者がいるとした回答で「はい」84.5%、「いいえ」12.4%、「不明」3.2%という結果となりました。

□ はい   □ いいえ   □ 不明



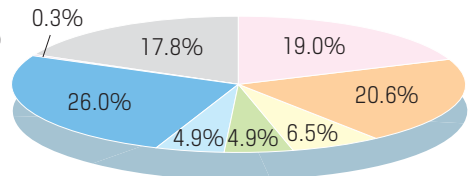
災害時の対策（人的資源などの状況）について、緊急事態が起こった場合、従業員と連絡を取り合うことができるとした回答で「はい」94.0%、「いいえ」1.9%、「不明」4.2%という結果となりました。

問4

貴社における災害時の対策（建物・設備などの状況）についてお聞きします。大規模地震で自社や取引先が被災した場合に備え、どのような対策をしていますか。下記の中から3つ以内で選んでお答えください。

- 1. 事務所の耐震補強
- 2. 設備の転倒防止（固定等）
- 3. 施設を分散し、他所で事業可能
- 4. 原材料を他企業から代替調達可能
- 5. 当面、協力企業への代替生産依頼が可能
- 6. 災害用の損害保険への加入
- 7. その他（ ）
- 8. 特に対策はしていない

□ 事務所の耐震補強   □ 設備の転倒防止（固定等）   □ 施設を分散し、他所で事業可能  
 □ 原材料を他企業から代替調達可能   □ 当面、協力企業への代替生産依頼が可能   □ 災害用の損害保険への加入  
 □ その他（ ）   □ 特に対策はしていない



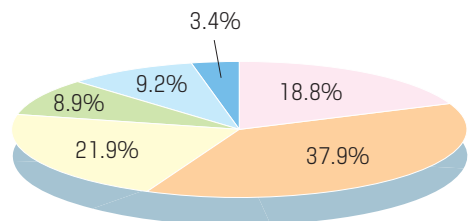
大規模地震で自社や取引先が被災した場合に備えた対策について、最も多い回答は「災害用の損害保険への加入」26.0%、次いで「設備の転倒防止（固定等）」20.6%、「事務所の耐震補強」19.0%、「特に対策はしていない」17.8%となりました。

問5

災害対策として、現預金を常に一定程度保有することが望ましいとされています。貴社では、現預金をどの程度保有していますか。下記の中からお答えください。なお、お答えの際は、現預金の保有が最も少ない時期（売掛金の回収直前など）を想定してください。

- 1. 売上げの3か月分以上
- 2. 売上げの1～3か月分
- 3. 売上げの2週間分～1か月分
- 4. 売上げの2週間分未満
- 5. ほとんど保有していない
- 6. 把握していない

□ 売上げの3か月分以上   □ 売上げの1～3か月分  
 □ 売上げの2週間分～1か月分   □ 売上げの2週間分未満  
 □ ほとんど保有していない   □ 把握していない



現預金の保有状況について、最も多い回答は「売上げの1～3か月分」37.9%、次いで「売上げの2週間分～1か月分」21.9%、「売上げの3か月分以上」18.8%という結果となりました。